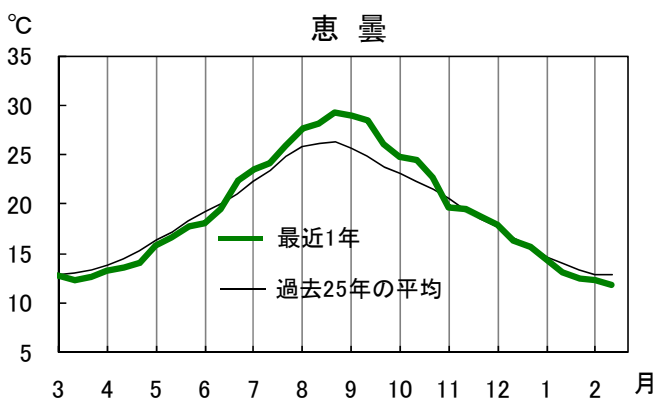
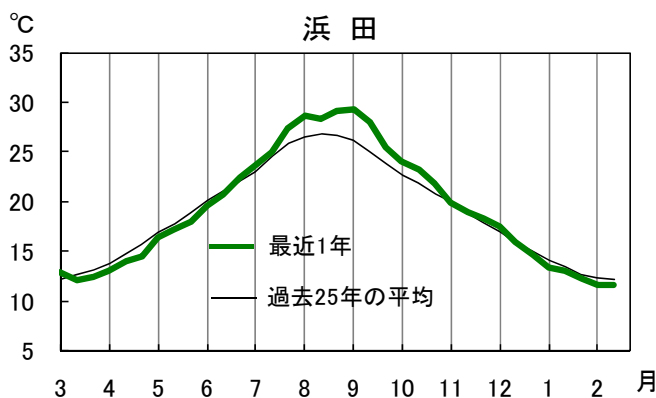




《1～2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	12.9℃	-0.5℃	やや低め
恵曇	13.1℃	-0.8℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では1月以降、1月下旬に「平年並み」であった以外「やや低め」で経過しています。一方、恵曇地区では1月上旬～中旬は「平年並み」でしたが、1月下旬以降低め傾向に転じ、「かなり低め～やや低め」で経過しています。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況でした。1月は荒天休漁が多く水揚げ日数は平年の2割に止まりましたが、1統1航海あたりの漁獲量が平年を大きく上回ったため、総漁獲量は平年並みでした。浦郷地区でもサバ類主体の漁況が続きましたが、その漁獲量は平年の6割と低調であったため、総漁獲量は平年の5割でした。一方、西郷地区ではサバ類に加えマアジもまとまって漁獲され、サバ類は平年の8割、マアジは6割と低調でしたが、スルメイカの混獲が多く、総漁獲量は平年並みとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカからスルメイカ主体(全体の100%)の漁況に移行しました。その漁獲量は平年の2%で、平成20年以降1月のスルメイカは極めて低調な漁況が続いています。西郷地区(属人5トン以上)でもスルメイカ主体(全体のほぼ100%)の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、全く水揚げがなかった前年から好転し、1,735kgと平成18年以降過去最高となりましたが、水揚げ日数が平年の1割であったため、総漁獲量は平年を下回りました。2月に入って山陰沖にスルメイカの漁場が形成され、各地で活発な水揚げが続いているようです。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ、キダイ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は13.2トンと、前年を2割近く下回りましたが、平年(過去10年平均)をわずかに上回りました。その中でも、マフグは平年の3.3倍、キダイは平年の2.6倍の漁獲があり、好調に推移しました。一方、ソウハチ、アンコウは、平年の4～8割の水揚げに止まり、低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江・久手両地区とも、ソウハチ主体の漁況でした。時化の影響で水揚げ日数が減少しましたが、1隻1航海あたりの漁獲量は、和江地区では平年を4割上回りましたが、久手地区では平年並みで推移しました。和江ではソウハチ、キダイ、ヒレグロなどが平年を上回り、比較的好調に推移しました。一方、久手地区はソウハチ、ニギスは平年を上回りましたが、主要種の多くが平年を下回り、低調に推移しました。

【定置網漁業】

石見地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、それぞれの1統当たりの漁獲量はブリが前年の4.2倍、マアジが前年の5.5倍と好調で、全統の総漁獲量も前年の1.9倍でした。出雲地区ではスルメイカ主体の漁況でその1統当たりの漁獲量は平年の5.9倍と好調でしたが、例年の主要魚種であるマアジが平年の7割、カワハギ類が平年の5割と不調であったため、全統の総漁獲量は平年の1.2倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況でその1統当たりの漁獲量は平年の1.8倍と好調で、全統の総漁獲量も平年の1.7倍でした。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は35kgで平年を上回りました。出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は26kgで平年を下回りました。隠岐地区ではメダイ、スルメイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は71kgで平年を上回りました。全地区とも時化の影響を受け、水揚げ日数が平年の3～5割でした。

【平成23年1月の漁獲統計】 本年の漁獲量が0Kgのものは全てをーとし、前年の漁獲量がほぼ0Kgのものは前年比をーとした。

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	サバ類	317トン	72%	83%	79.3トン	270%	358%	◎
	西郷	サバ類、マアジ	2,557トン	130%	78%	46.5トン	107%	85%	○
	浦郷	サバ類	961トン	118%	54%	24.6トン	97%	64%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	2トン	278%	2%	802 kg	696%	141%	○
	西郷	スルメイカ	12トン	ー	56%	1,735 kg	ー	558%	◎
沖合 底びき網	浜田	マフグ、キダイ	277トン	82%	90%	13.2トン	78%	107%	○
小型 底びき網	久手	ソウハチ	74トン	75%	55%	646 kg	92%	100%	○
	和江	ソウハチ	147トン	82%	68%	1,052 kg	129%	137%	◎
定置網 (大型)	浜田	冬季休業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	美保関	スルメイカ、マアジ	81トン	86%	95%	1,113 kg	85%	99%	○
	浦郷	スルメイカ	30トン	251%	103%	1,606 kg	223%	100%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ	10トン	85%	65%	68 kg	120%	138%	◎
	大社	ブリ	4トン	21%	24%	35 kg	62%	88%	○
	西郷	メダイ	11トン	72%	65%	79 kg	114%	129%	◎

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下